

# 事務事業評価シート(平成19年度実績分)

## (1) 事務事業の名称・位置づけ [Plan1]

白色のセルのみ入力してください。(コメントを見ながら入力)

事務事業コード	事務事業名	担当課	担当係名	所属長(課長等)名	担当者係長名
04303	国保運営趣旨普及事業	保健福祉課	国保医療係	井口 敬子	松井 夕起子
		一次評価年月日	平成 20 年 7 月 24 日	連絡先(内線)	43-3333
事務事業実施の根拠・位置づけ	予算における位置づけ(会計区分・事業コード・事業名)	会計区分		事業コード	事業名(歳出予算見積書)
		「」 一般 <input checked="" type="checkbox"/> 特別	0338	国民健康保険事務	
	「」 一般 <input type="checkbox"/> 特別	#N/A			
	第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章 (コード選択)	2章	安らぎと潤いのある社会	
		節 (コード選択)	3節	社会保障を充実し健やかな暮らしを守る	
		項[基本施策] (コード選択)	232	国民健康保険・老人保険制度の充実	
主な取り組み (コード選択)		2326	運営趣旨と制度の正しい理解と普及の促進		
関連する計画等への位置づけ	<input type="checkbox"/> 第四次行財政改革大綱	<input type="checkbox"/> 3ヶ年実施計画	<input type="checkbox"/> 主要業務報告	<input checked="" type="checkbox"/> その他	
事務期間	(開始)	年度 ~ (終了予定)	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 開始時期不明	<input checked="" type="checkbox"/> 終期設定なし

## (2) 事務事業の内容(目的と手段を把握します。)[Plan2]

①対象(〜に対して)……この事務事業はどんな人(誰・何)を対象に行っていますか。

国民健康保険加入者

②目的(意図)(〜という状態にするために)……この事務事業のサービスを提供することによって対象をどのような状態にしたいのですか。

加入者の納める保険税や国からの補助金によって運営されている国民健康保険制度を理解いただき病気になったり、けがをしたときに安心して医療の提供を受けられるようにすること。また病気にかからないように保健事業や健診等を実施すること。

③手段(事業内容)(〜を行う)……上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的(意図)を達成するか、事業の実施内容(サービスの概要)を記入します。

- 加入・脱退等異動の届けを速やかに行うことで自費診療や、保険料の過払い(二重)等避けられる。
- 医療費の大きな財源である、国民健康保険税の期限内納付の協力。
- 
- 

## (3) 活動指標の設定と推移……(2)の③サービスの概要(手段)の指標を表します。[Do1]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
① 指標名	国保のしくみの啓発	回	14	14	14	14	14
① 説明	「信濃の地域医療」の配布、国保証郵送時のパンフレット・チラシ、「医療費のお知らせ」等の発送。	目標値設定の根拠	「信濃の地域医療」の各戸配布回数、チラシ・パンフレット配布回数				
② 指標名	国保税の期限内納付の啓発	回	3	3	3	3	
② 説明	「税の広場」(毎年5月発行)や、滞納者との納税相談の実施	目標値設定の根拠	「税の広場」の発行回数、滞納整理強化時の納税相談回数				

## (4) 成果指標の設定と推移……(2)の②目標(意図)の達成度を指標で表します。[Do2]

区分	単位	実績値		計画値		最終目標年度	
		18年度	19年度	20年度(見込み)	21年度(見込み)	22年度	年度(見込み)
① 指標名	加入・脱退等早期届け出の促進・頻回受診の抑制		14	14	14	14	14
① 説明	チラシ等配布し啓発を実施	目標値設定の根拠	医療費抑制のため保険税の有効活用				
② 指標名							
② 説明		目標値設定の根拠					

## (5) 総事業費(コスト)の推移 [Do3]

※事業費の算定方法

決算書・予算書等に記載の数字

按分計算による算定

○総事業費(コスト概算)	=①+②	(千円)	平成18年度決算	平成19年度決算	平成20年度見込み	平成21年度見込み						
			3,227	2,919	3,014	2,706						
対前年比		%		90.5	103.3	89.8						
A) その他の財源(国庫支出金・県支出金・地方債・分担金・使用料・雑収入など)												
B) 一般財源(税金)												
①事業費		(千円)	727	586	887	800						
対前年比		%		80.6	151.4	90.2						
②人件費の概算		(千円)	2,500	2,333	2,127	1,906						
対前年比		%		93.3	91.2	89.6						
			課長	課長補佐	係長	一般職員	延べ人数	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費	
			H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H19 H20 H21	H18 H19 H20 H21	/	/	/	/	
町職員(正規職員)			0.02 0.01 0.01	0.04 0.07 0.06	0.08 0.00 0.00	0.16 0.21 0.19	0.32 0.31 0.29	0.26	2,500	2,333	2,127	1,906
臨時職員			人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。(人件費計算式)シート				0.00 0.00 0.00	0.00 0.00 0.00	0	0	0	0

指標化

(6) 項目別評価 [Check]

視点	項目別評価	判定	評価結果
必要性	1. 事業のニーズに変化はありますか	B	A 増加傾向にある      B 変化していない C 減少傾向にある      D かなり減少している
	2. 町(行政)が関与する必要性がありますか	A	A 町が主体となる必要がある      B 町以外の主体で実施できるが町の関与は必要 C 町も関与するが関与の度合いを縮小できる      D 町の関与のあり方を再検討する
目的妥当性	3. 対象の設定は妥当ですか	A	A 対象は現在の設定が妥当である      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 対象の変更の余地がある →
	4. 目的(意図)の設定は妥当ですか	A	A 目的(意図)は明確で上位の施策に合致している      Bの場合その具体的な内容をお書きください B 目的(意図)は上位の施策に合致していない点がある →
有効性	5. 期待された成果は得られましたか(成果指標の目標値への達成度)	B	A 期待したとおりの成果があった      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 概ね期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった → D 成果が少なく今後も向上する見込みがない →
	6. 連携可能な事務事業はありますか(町以外の取り組みも含めて)	C	A すでに実施している      A・Bの場合その具体的な内容をお書きください B 今後は可能性がある → C 今後可能性はない
効率性	7. 成果を下げずにコスト(事業費・人件費)を削減できますか	B	A 余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面は余地なし C 一部余地あり → D かなり余地あり →
公平性	8. 受益者負担は適切ですか	C	A 検討の余地なし      C・Dの場合その具体的な内容をお書きください B 当面検討の余地なし C 一部検討の余地あり → D かなり検討の余地あり → 人間ドックの補助金額が多額であり、一部の者に限られている。
その他	9. 現在の事業内容(サービス)に対して、対象の声やニーズを把握していますか	B	A アンケートなど具体的な方法で把握している      A・Bの場合その具体的な把握方法を、Cの場合その理由をお書きください B 日常業務の中で把握している → C 把握していない      国保運営協議会の委員等から加入者としての意見を把握

(7) 改革改善 [Action]

今後の方向性(上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。) を一つチェックしてください。

- ア. 現状のまま継続する       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止

〈今後の展開方針〉(イを選択した場合のみを一つチェックしてください)

- a 重点化する(コストを集中的に投入する等)
- b やり方を改善する(実施主体や実施の手段を変える)
- c 効率化を図る(コストを下げる)
- d 縮小する(簡素化する)
- e その他(別事務事業に統合する等)

(ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください)

時期(年度)

事業改善の経過

(事業改善をした内容と実施時期を記入します。)

事業の方向性の具体化

(誰が、何を、いつまでに、どうするか(5W1H)等の改革改善案を記入します。)

医療制度の煩雑な改正により保険者として国の方向に左右される部分が多く改革が困難 人間ドックの補助金に関しては20年度から始まる特定健康診査等や、後期高齢者医療制度等の絡みもあり、多方向からの検討を要している為方向性の具体化に時間を要している。

20年度予算見積書への反映  あり  なし

[反映内容]

(8) 所属長 所見 (事務事業の総合評価及び今後の方向性について)

(評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。)

継続実施

上位の施策の推進に貢献していますか。 をチェック

- A. 貢献度 大       D. 上位施策なし
- B. 貢献度 中
- C. 貢献度 小

(今後の方向性 を一つチェックしてください。)

- ア. 現状維持       イ. 見直しのうえで継続する       ウ. 終期設定       エ. 廃止       オ. 休止



上記 a~e を選択